



令和 8 年 7 月 21 日
午前・午後 4 時 28 分 受領

No. 1

議長	事務局長	係

令和 8 年 7 月 21 日

あいなん未来会議議長 吉田 茂生 殿

あいなん未来会議議員 畠山 陸

あいなん未来会議議員 澤近 桃子

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1 愛南町の農業の活性化について 現在、愛南町では人口減少や高齢化が進んでおり、農業分野においても農業従事者の高齢化や後継者不足が課題となっています。また、農家戸数の減少や労働力不足により、地域農業を維持していくことが難しくなることが懸念されています。一方で、愛南町は柑橘栽培をはじめとする農業が盛んな地域であり、将来にわたって地域農業を発展させていくための取り組みが重要であると考えます。そこで、私たちは愛南町の農業の発展と持続可能な農業の実現に向けて、次のことについて質問します。 (1) スマート農業について 農業従事者の高齢化や担い手不足が進む中、ドローンや自動走行農機、ICT 技術などのスマート農業の導入や普及について、愛南町では今後どのような取り組みを進めていく予定ですか。 (2) 柑橘加工施設について 現在、南宇和高校では愛南ゴールドをジュースに加工する際、宇和島市にある加工施設まで運搬しています。愛南町産の柑橘類の高付加価値や生産者の負担軽減のため、町内で加工できる施設の整備についてどのように考えていますか。	町長

（３）担い手確保・後継者育成について

愛南町では新規就農者への支援制度が実施されていますが、今後さらに若い世代の就農者や農業後継者を増やすために、どのような取り組みを考えていますか。

（４）新品種・ブランド開発について

愛南町の農産物の魅力をさらに高めるため、新たな柑橘品種や地域ブランドの開発について、行政や研究機関と連携した取り組みをどのように進めていく考えですか。